

令和 8 年度 北日本医療福祉専門学校
薬業科シラバス（1 年）

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
法学	30時間	15コマ	2単位	1 学年 (前期)	必修
【学修内容】					
医薬品の販売制度の仕組みや、医薬品の承認・認可制度、副作用などの安全確保の為に仕組みを理解する。					
【到達目標】					
薬事法規の仕組みを理解し、医薬品販売に活かせる。					
【授業の方法】					
・講義					
【成績評価の方法と基準】					
・小テスト、授業態度 20% 筆記試験 80%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・薬事日報社 よくわかる薬機法 医薬品販売制度編、適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
コミュニケーション技術	30時間	15コマ	1単位	1 学年 (前期)	必修
【学修内容】					
心理学、言葉づかい、姿勢等に焦点を充て、社会人としての多様なコミュニケーションツールを用いて展開していく。					
【到達目標】					
1. 適切な言葉づかいを用いたコミュニケーションができる。					
2. コミュニケーションを図るうえでのマナーを習得する。					
3. 説明責任を果たす方法やその手続きについて理解する。					
4. 言語に捉われない表現豊かなコミュニケーションを図ることができる。					
5. 手話を用いた基本的なコミュニケーションができる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
小林 よね子：授業態度・筆記試験 100%					
我妻 信子：試験及びレポートを総合的に評価					
小林 47%、我妻 53%とし合わせて総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・手話で学ぶクスリの教科書、適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
マーケティング論 I	30時間	15コマ	1単位	1 学年 (後期)	必修
【学修内容】					
現代社会に必要な情報リテラシー能力について Windows コンピュータを用いて学ぶ。ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、メールソフトの使い方を理解し、パソコンの操作方法、文書、表やグラフ、プレゼンテーション、電子メールの活用技術を身につける。					

【到達目標】
1. ワードソフトを活用し、文書や図を作成する能力を身につける。 2. 表計算ソフトを活用し、表、グラフを作成する能力を身につける。 3. プレゼンテーションソフトを活用し、スライド作成とグループでテーマに沿った情報をまとめ、説明する能力を身につける。 4. メールソフトを活用し、ビジネスメールを作成する能力を身につける。
【授業の方法】
・演習を中心に進める。
【成績評価の方法と基準】
・文書作成と表計算による実技試験（70%）、グループごとのプレゼンテーション発表（20%）、授業中に取り組み演習課題の成果物を提出（10%）で評価する。
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・授業内容を理解するために、授業後は復習すること。
【使用教材・教具】
・配布資料
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食、 unnecessary スマートフォン等の操作は認めません。私語は原則認めませんが、不明な点をお互い確認を取ること認める。 ・欠席した場合の授業中の課題については、実技試験実施までに提出すれば評価する。 この科目は、卒業後の社会生活において必要なスキルとなるので、意識しながら取り組むこと。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬理学Ⅰ	60時間	30コマ	4単位	1学年 (通年)	必修

【学修内容】
医薬品の薬効成分についての知識理解について学ぶ。
【到達目標】
1. 医薬品の定義について理解できる。 2. 医薬品の薬効成分について理解できる。 3. 効能と副作用について理解できる。
【授業の方法】
・講義
【成績評価の方法と基準】
ワークシート20% 筆記試験80% 前期50%、後期50%とし総合評価とする
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 上下巻 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、 unnecessary 携帯電話等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
医薬品管理学Ⅰ	30時間	15コマ	2単位	1学年 (通年)	必修

【学修内容】
1. 医薬品に関する基礎知識を学ぶことができる。 2. 医薬品概論、医薬品の効き目や安全性について学ぶ。 3. 医薬品に関する情報をクラス内で協議・情報共有する。
【到達目標】
1. 医薬品の本質やリスクについて理解できる。 2. 健康食品と医薬品の関連について理解できる。 3. 医薬品の効き目や安全性について理解できる。
【授業の方法】

・演習
【成績評価の方法と基準】
・小テスト・授業態度 10%、筆記試験 90%
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】
・授業終了後に復習を行い、毎時間行われる確認テストに備える。
【使用教材・教具】
・ユーキャンの新人 登録販売者お仕事マニュアル
・その他適宜資料
【履修にあたっての留意点】
・携帯電話の持ち込みは禁止します。グループワークにも積極的に参加しましょう。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅰ	30時間	15コマ	1単位	1学年 (前期)	必修
【学修内容】					
人体の各器官別、各機能別に構造と働きを理解でき副作用と結びつけて理解する。					
【到達目標】					
人体の各器官別、各機能別に構造と働きを理解でき副作用と結びつけて理解することができる。					
【授業の方法】					
・演習					
【成績評価の方法と基準】					
・小テスト・授業態度30% 筆記試験70%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。					
復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】					
・登録販売者試験受験対策共通テキスト 適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】					
・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
薬業演習Ⅱ	30時間	15コマ	1単位	1学年 (後期)	必修
【学修内容】					
薬業演習Ⅰで学んだ売場作りを実際に学生自ら構想し製作することで商品構成や商品管理について理解を深める。					
【到達目標】					
登録販売者としての店舗管理について理解することができる。					
【授業の方法】					
・演習					
・グループワーク（4～5人のグループに分かれ、登録販売者についてディスカッションする。その中で、理想の医薬品を立体的かつ具体的に作成する。完成した作品は、校内で展示する。展示後、各グループの医薬品について振り返りを行う）					
【成績評価の方法と基準】					
横田 禮子：筆記試験 100%					
高村 幸生：小テスト、授業・演習態度 10% 筆記試験 90%					
横田 33%、高村 67%とし総合評価とする。					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・様々な店舗（ドラッグストア・総合スーパー等）へ行き、店舗展開をイメージしてもらう。					
【使用教材・教具】					
・登録販売者試験 受験対策共通テキスト上巻					
・校内展示作品制作必要物品（医薬品空箱、画用紙、折り紙等）					
・その他適宜資料					
【履修にあたっての留意点】					
・特になし。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
栄養学	15 時間	8 コマ	1 単位	1 学年 (前期)	必修
【学修内容】 栄養について学び、生活を支援することの重要性を学ぶ。					
【到達目標】 1. 栄養、健康食品の理解をすることができる。 2. 高齢者や障害者に対応した調理方法、食事方法を理解できる。					
【授業の方法】 ・講義					
【成績評価の方法と基準】 ・1 学年：出席・授業態度・取組 10～20%、レポート・筆記試験 80～90%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。 復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。					
【使用教材・教具】 ・ヘルスクエアに関する実践知識編第 2 巻 適宜資料配布					
【履修にあたっての留意点】 ・授業中の飲食や私語、 unnecessaryな携帯電話等の操作は認めません。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
精神保健の基礎	30 時間	15 コマ	2 単位	1 学年 (後期)	必修
【学修内容】 ストレスを知る、ストレスへの気づき方、その対処と軽減の方法を知り、働く人の心の健康を保持増進できる知識と技術を習得する。					
【到達目標】 心の不調に早期に気づく事ができ、その対処方を知り、職場作りのための知識を修得する。 心の健康を維持するセルフケアを習得する。					
【授業の方法】 ・講義					
【成績評価の方法と基準】 ・筆記試験 100%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 ・ストレスや心の健康問題について考えられる人材となるように、予習復習をしましょう。					
【使用教材・教具】 ・メンタルヘルス・マネジメント検定試験 公式テキスト					
【履修にあたっての留意点】 ・ヘルスメディケーションを推進する人材として自身の精神の健康を保持し、健康を示唆できる人材となるため積極的な学習をしましょう。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
接遇マナー	30 時間	15 コマ	1 単位	1 学年 (前期)	必修
【学修内容】 職場でのマナーについて学ぶとともに、英語での応対接客について学ぶ。					
【到達目標】 接遇マナーについて理解できる。					
【授業の方法】 ・演習					
【成績評価の方法と基準】 ・授業態度、期末テスト、課題の取り組み 総合的に評価					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】 予習：次回行われる授業の範囲の教科書を読んでください。					

復習：教科書やノート、配布資料をもとに授業内容を整理し、分からないことを調べ、質問してください。
【使用教材・教具】
・医療従事者必携 接遇とマナー 適宜資料配布
【履修にあたっての留意点】
・授業中の飲食や私語、不必要な携帯電話等の操作は認めません。

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
実習指導	30時間	15コマ	1単位	1学年 (前期)	必修
【学修内容】					
現場実習（実務経験）に向けた知識を深め、円滑な実習を行えるように社会人としての基本的なマナーを身に付ける。					
【到達目標】					
社会人としての基本的なマナーを身に付け、現場実習（実務経験）への知識を深める。					
【授業の方法】					
・演習 ・グループワーク					
【成績評価の方法と基準】					
・演習態度 20%、実技テスト 80%					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・様々な店舗（ドラッグストア・総合スーパー等）へ行き、登録販売者の接客を観察してみましょう。					
【使用教材・教具】					
・薬業科 実務経験の手引き ・薬業科 現場実習（実務経験）要綱 ・その他適宜資料					
【履修にあたっての留意点】					
・携帯電話等の持ち込みは禁止します。					

科目名	授業時数	コマ数	単位数	対象学年	必修/選択
現場実習	720時間	—	24単位	1学年 (通年)	必修
【学修内容】					
主に一般用医薬品の販売等の直接の業務。					
【到達目標】					
1. 店舗及び業務の理解、基本的マナーの実践、基本コミュニケーションの実践が行える。 2. 最小限の指示の下で業務、報告・連絡・相談の確立、レジ・品出し業務の基本的理解が行える。 3. 発注業務・広告作成、販促への積極的協力、プレゼンテーション能力の獲得が行える。					
【授業の方法】					
・実習					
【成績評価の方法と基準】					
・現場評価 0.4 巡回教員評価 0.6 とし					
【授業時間外に必要な学修の具体的内容】					
・教員の巡回を利用し、実習でのつまづきを解消して行きましょう。					
【使用教材・教具】					
・接遇とマナー 登録販売者試験受験対策共通テキスト 本校現場実習要綱					
【履修にあたっての留意点】					
・提出物は遅れのないように提出すること。					